

一期一絵・・・

SILKLAND

gallery news & communication

No.156
ギャラリー通信 Feb2022
<http://www.silkland.co.jp>



《月の舟》F8

～花と夢と愛・心の贈りもの～

前田 麻里 展

2月6日(日)～19日(土)

11:00-19:30(土・日・祝祭日は18:30まで) ※ 最終日は午後5時閉廊

作家来場日 2/6(日), 9(水), 16(水), 19(土) ※ 午後1時～5時

※ 状況により来場予定日が変更になることもございます。詳しくは当画廊までお問い合わせ下さい。

ごあいさつ

幻想的な音色を奏でる妖精のような可憐な少女。夢の世界で主人公を演じる少年。星が降り注ぐ銀河の中を走る汽車。そして沢山のいとしい花々や動物たち。

私たちが物語の世界へと誘い、愛と感動を与え続ける前田麻里先生の当画廊5回目の個展を開催いたします。独自の美しい「青」を基調とした作品は観るものを魅了し、忘れかけていた大切なものを思い出させてくれる作風は優しさと温かさに包まれています。

昨年は「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+」にて、2018年よりアート担当として手掛けてきた演劇作品「時速30kmの銀河の旅」の最終章が映像公開されるなど、画業以外にも様々な分野において『表現者』としての活躍も充実の一途を辿っています。

新作30余点を展覧いたします。この機会にぜひご高覧くださいませ。

2022年1月

シルクランド画廊



《花のシンフォニー》F20

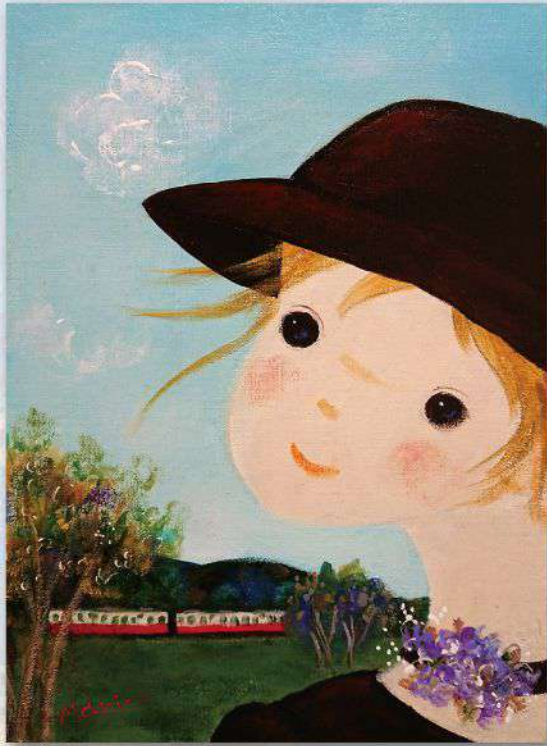


《そよ風の午後》F3



《虹を架ける人》F3

前田 麻里 作品号単価：5万円



《風が変わる頃》F4



《星をつくる少年》F4

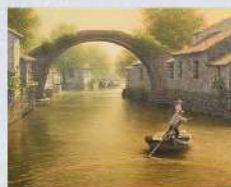


《街角のピアノ弾き》F4



《海の調べ》F6

Information
展覧会情報



孫 家暲《夫婦同舟》F30

2/20 - 3/12
開廊19周年展

銀座に開廊以来シルクラ
ンド画廊が紹介を続けて
きた作品とともに、19年の
軌跡をたどります。



3/13 - 26
Vivel 2022

日常にあるささやかな喜びを
見出そうとする日本画家によ
るグループ展。恒例の各自
共通テーマは「眠る」。各々
の個性にご期待ください。



《銀河を走る》WF4



《花の子の夢》WF3



《虹をわたって》F6



《森のピアノ》F3



画集・カレンダー・ポストカードの他
グッズも多数取り揃えております。



前田 麻里 略歴 Mari Maeda

神奈川県川崎市に生まれる

1989年 創作画人協会 新人賞受賞 / 1995年 朝日チューリップ大賞展 大賞受賞 / 1997年 現代具象展 出品 / 2007年 創作画人 協会展 文部科学大臣賞受賞 / 2013年 群馬県伊香保「保科美術館」にて特別展開催 / 2014・16年 演劇ユニット、テトラクロマットに舞台使用絵画提供及び絵画展示 / 2017年 舞台「しあわせのタネ」宣伝美術担当、舞台マサオプション第一回公演「ある写真館のはなし」フライヤー使用絵画制作及び舞台使用絵本の絵を担当する / 2018年 アートいちほら2018 前田麻里×坂口理子×マサオプション「時速30kmの旅」(春・始発駅 秋・乗換駅) / 2019年 日経アートに紹介される / 2020年「アートにエールを！東京プロジェクト」においてダンスシアターユニット「マサオプション」の動画作品に劇中絵画として参加 / 2021年 房総里山芸術祭 いちほらアート×ミックス2020+ 前田麻里×坂口理子×マサオプション「時速30kmの旅」(終着駅)

現在 創作画人協会会員・日本美術家連盟会員

シルクランド画廊

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

<http://www.silkland.co.jp> e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

